

平成 26 年度第 8 回加古川市子ども・子育て会議 議事要旨

- 日時 平成 27 年 3 月 1 日（日） 9 時 30 分から 10 時 30 分
- 場所 加古川市立勤労会館 3 階 301 会議室
- 出席者（委員） 杉山委員、大辻委員、河口委員、木村委員、小泉委員、諏訪委員、下村委員、藤井委員、藤池委員、藤木委員、松浦委員、三柴委員、名生委員
- 会議次第
1. 開会
 2. 議事
 - （1）加古川市子ども・子育て支援事業計画（素案）に関するパブリックコメントの実施結果について
 - （2）子ども・子育て会議について
 - （3）その他
 3. 閉会
- 配布資料
- 資料 1 : 平成 26 年度第 8 回加古川市子ども・子育て会議座席図
- 資料 2 : 加古川市子ども・子育て支援事業計画（素案）に関するパブリックコメントの実施結果の概要
- 資料 3 : 加古川市子ども・子育て支援事業計画（素案）に関するパブリックコメント提出意見及び本市の考え方（案）
- 資料 4 : 加古川市子ども・子育て支援事業計画（案）
【パブリックコメントのご意見を反映したもの】

議事要旨

1. 開会	開会の宣言
2. 議事 事務局	<p>（1）加古川市子ども・子育て支援事業計画（素案）に関するパブリックコメントの実施結果について</p> <p>加古川市子ども・子育て支援事業計画（素案）に関するパブリックコメントの実施結果の概要等について事務局より説明を行った。</p> <p>【加古川市子ども・子育て支援事業計画（素案）に関するパブリックコメントの実施結果の概要、提出意見に対する本市の考え方（案）及び計画の最終案について説明】資料 2 から資料 4 まで</p> <p>（意見等なし）</p>
委員	<p>それでは、子ども・子育て会議としては、このたび事務局から示された計画案が、最終案として適当であるということによいか。</p>

委員	<p>(委員賛同)</p> <p>お認めいただいたので、字句の修正等は事務局に委ねることとし、この最終案をもとに今後の策定作業を進めていただきたい。</p>
事務局	<p>(2) 子ども・子育て会議について</p> <p>子ども・子育て会議について事務局より説明を行った。</p> <p>【子ども・子育て会議の平成27年度以降の開催頻度や議論いただく予定の事項、委員構成等について説明】</p>
委員	<p>いつも気持ちを引き締めて来ているが、主婦をしている私たちとしても土曜日や日曜日は気が緩くなっている。今日は引き締めなおして会議に出席した。気持ちがオンになっている平日の方がありがたい。</p> <p>ただ、パブリックコメントのご意見を見て感じたのは、子ども・子育て会議が、働いている方々の意見を反映できる場でないといけないということを見ると、そのような方々が参加しやすい休日に開催すべきなのかとも思う。</p> <p>他の皆さんの意見も聴いてみたい。</p>
委員	<p>これまでの会議で一番話題になってきたのが、幼稚園や保育所のことだった。平日に出席できる私たちは同じような環境だが、幼稚園や保育所を利用している方がどのような方かということを見ると、働いているお母さん、お父さんだと思う。そのような方が出席されると、もっとリアルな、切実な意見が出たのではないか。保育所に毎日預けて利用しているわけではないので、保育所に関してリアルな意見を出せていない。保育所を利用している方が意見を出せる場がないのかと考えると、「平日開催の会議に出席できる方」という限定があったからだと思う。働いている方の意見を聴かないと変わらないのかもしれない。企業で働いている方について、例えば会社と交渉して、この場で意見を出せるような形にすれば、保育所や幼稚園についてももう少しリアルな意見が聴けたのではないか。</p> <p>私は、保育所や幼稚園には自分の子どもがまだ行っていないのでリアルな意見はまだ出せないが、働いていない保護者の置かれている保育環境や保育サービスについて意見を反映していただきたくて、この会議に参加させていただいた。こういった内容については、この事業計画が策定されて以後に詳細を話し合うということを事務局から常々伺っている。</p>

委員	<p>ただ、この計画が完成し、今後は3～4カ月に1回の開催ということになってしまうと、私が意見を出したいと思っていたことがこれから先に十分意見を出せるのかどうか、少し不安に感じている。</p> <p>また、お父さんが委員としていないということも残念に思う。今後、保護者のいろいろなニーズを吸い上げるために、もう少し幅広い意見を得られるような工夫があってもいいのではないか。</p> <p>資料3の10ページにもあるように、パブリックコメントでもそのようなご意見をいただいている。先ほどの事務局の説明であったように、私たち委員の任期が11月までということである。パブリックコメントに対する「市の考え方(案)」にもあるように、今後、増員や対象の変更なども考えているということであるが、このメンバーで11月まで運営していくということであれば、今お集まりの皆さんのご都合を最優先すべきである。特に、公募委員の方については、お子様をお持ちであり、これらの委員さんのご意見を重視しながら、開催日や時間帯を考えていくべきである。11月以降に新しい委員で運営していくのであれば、その方々が参加しやすい時間帯を調整して開催日や開催時間を決めていくのがいいのではないか。11月までは、現委員の皆さんからアンケートを採るなどしていただいて、11月以降は新しい委員さんのご意見やご都合を優先していけばいいのではないか。なお、日程調整についてはできるだけ早めに調整いただきたい。</p>
委員	<p>会議の構成員について、他の自治体では、園に保護者委員の推薦依頼があり、園から保護者を選んだように聞いている。民間の法人保育所の園長会に依頼いただいてもよいし、このたびは公募だったため法人保育所の園長会で募ればよかったかなと思う。ただ、保育所を利用される保護者の方はお仕事などで平日は毎回参加できないようにも思う。公募の条件が「平日に参加できる方」ということであり、私は保護者ではないが、園を利用いただいている保護者の想いをこの場でもらせていただいた。次の委員選任の時には、私たち園長会としても保護者の方にできるだけ声を届けていただけるように、「子育てをしている人たちが安心して」というねらいとするのであれば、保育所を利用されている働いている人たちの声を出していただけるような場を作っていただきたいと思う。園長会にお声掛けいただければ協力できる面もあると思う。</p>
委員	<p>11月までは、今の委員で構成していくということでよいか。</p> <p>(委員賛同)</p>

委員	<p>今の委員の任期が満了する11月以降については、多様な方々を募って会議運営をしていくということでよいか。</p> <p>資料3の「市の考え方(案)」として、追加委嘱についても検討されているようであるが、11月まではこの委員で運営していくということで、子ども・子育て会議の意見としたい。</p> <p>私自身もかなり保育所を利用させていただいた。そういう意味では、保護者の立場に立って意見を述べた点も多い。個人的には、偏りのある意見だったとは思わないが、パブリックコメントのご意見を真摯に受け止め、今後の運営の参考にさせていただきたいと思う。</p>
委員	<p>今後の開催予定として3～4カ月に1回ということであったが、保護者の方からご意見があったように、この場に出されたいろいろな意見が、今後どのように反映されていくのかが一番疑問に感じられているのではないか。この計画が、これからどのようにスタートするのか、私の中でも実感がない。</p> <p>3～4カ月の間隔が空いてしまうのではなく、最初から何ヶ月と決めてしまわずに、状況を見ながら、例えば5月頃にでもこれからの具体的な方向性などを決めてはどうか。</p>
委員	<p>今までの会議でも、ある程度の結果が出るタイミングでの開催だったように思う。3～4カ月に1回という開催ではなく、流れの中で開催する方向とし、回数を決めてしまわない方がいいように思う。</p>
委員	<p>4月にこの計画がスタートする。そこからまたいろいろなご意見が出てくるが、事務局の方で取りまとめるにはそれなりに時間を要するのではないか。事務局はどのように考えているか。</p>
事務局	<p>委員構成や開催日については、本日頂戴したご意見を参考に、11月という任期に特にこだわらず、事務局の方で検討する。</p> <p>開催時期については、事務局からの説明で3～4カ月に1回程度とご説明したのは目安であり、それより多くなることもある。7～8月が、新年度の1回目の会議というわけではない。今後、この計画に沿って市として仕事を進めていくわけであるが、今まさに、市議会でも来年度予算が審議されているところである。また、認定こども園、幼稚園、保育所の申込み人数や入所人数の結果もこれから取りまとめられてくる。4月以降、これらを総合的に検討する時間を少し頂戴して、委員の皆さまにお</p>

委員	<p>伺いすべき点を取りまとめて、会議を開催させていただきたい。</p> <p>また、「量」については、概ねこの計画に記載した。「質」についても記載はしているものの、いろいろな議論を踏まえて検討していかなければならないと考えており、これは、これまでからご説明しているとおりである。</p> <p>これらを踏まえ、開催時期や回数等については、事務局で検討させていただく。</p> <p>先ほどご意見としてあったように、休日の開催については、また現在の構成委員に諮っていただきたい。</p>
委員	<p>(4) その他</p> <p>議事(1)で話題にすべきだったかもしれないが、園長会でパブリックコメントの提出について働きかけを行った。保護者向けにチラシを作成し、保護者の方に「この計画を見てください」と周知してくださった園もある。ただ、この計画は非常に複雑で、市民センターで提出状況について伺った際にも、ご意見は提出されていなかった。冊子も分厚く、難しい制度だと感じている。ただ、たくさんのご意見が寄せられている。いただいたご意見のすべてが網羅できるとは、私たちも考えていないが、少しでも頂戴した意見や改善案の具体案などについて、この場で話し合いたいと感じている。</p> <p>新制度が始まるにあたり、先日、認定こども園の園長・副園長の全国研修が開催された。そこで挙げられたご意見を紹介したい。</p> <p>幼稚園の保育料と保育所の保育料についての違いについてのご意見であるが、多子軽減として小学校3年生までの兄弟がいる家庭については第2子は半額、第3子は無料というのが幼稚園の保育料の制度である。対して、保育所の場合は、小学校に兄弟がいることは関係なくなる。例えば幼稚園に在園している子どもの兄弟が小学校1年生であれば、その幼稚園の保育料は半額になる。ところが、同じように兄弟が小学校1年生であっても、保育所に通う子どもは保育料は半額にならない。認定こども園において、小学校3年生までに兄弟がいる家庭については、2号認定として保育料を支払う方と、1号認定を受けて幼稚園利用をしたうえで16時までの預かり保育を利用される方との間で大きな差が生じてしまう。この情報が広まると、認定こども園の1号認定の保護者の方が、2号認定と同じように16時まで利用される方が得になる。全国で課題となっており、国においても検討されるということであるが、この情報が広まり、また、市内の認定こども園の数が増えた際に、兄弟がいれば、</p>

<p>委員</p>	<p>なぜ1号認定として幼稚園部分を利用される方だけが半額になるのか、小学校3年生までというのが一つの課題だと考えている。各市町村で保育料の違いはあるものの、このような状況であれば、1号認定の希望が殺到するのではないかと気がかりである。</p> <p>ご意見の前半部分であった、計画のボリュームが大きいという点については、計画の概要版を作成されるとのことである。</p> <p>また、ご意見の後半部分について、私見ではあるが、我が国の場合は就学前の施策の所管が文部科学省と厚生労働省の2つの省にまたがっている。そのような歴史の結果だと認識している。国の問題であり、市町村レベルでは補助として対応することになるかと思う。今後、幼児教育の無償化が進められると思うので、その中で、徐々に解消されていくのではないかと。</p> <p>諸外国では、このように文部科学省と厚生労働省にまたがっているという例は非常に少ないかと思う。ただ、お聞きしていて、深刻な問題であると私も受け止めたところである。</p>
<p>委員</p>	<p>資料3の13ページに、児童クラブの4年生から6年生までの受け入れ枠を作って欲しいというご意見が多数寄せられている。以前、市に「10歳前後の子どもが家で一人で留守番することになるのか」と問い合わせたことがある。その際「4年生以降になれば、授業時間が長くなること、習い事が増えることなどから、ニーズが少ない」という説明を受けた。自分の子どもがまだ小さいこともありピンとこず、その時は納得した記憶がある。ただ、パブリックコメントの結果を見ると、世間の保護者の方は不安・不満を感じているようである。また、昨今の社会情勢では、4～6年生の子どもが一人で家にいることはいいことだとは思えない。市の考え方（案）として「全学年に拡大する。ただし、ハード面の整備が必要であり時間がかかることにご理解をいただきたい」とある。この1年少しの会議で、皆さん保育所のことについては熱く語られていたと思うが、児童クラブについて熱く語られた記憶はない。</p> <p>私の子どもは春から幼稚園に通うため、少し働きに出ようか、正社員を目指そうかなどと考えても、これらのご意見を見ると、高学年になった時に仕事と子育ての軋轢で苦しむことになるのではないかと感じる。保育所の待機児童ほど、児童クラブの問題が重点的に扱われていることはなく、この事業計画の全体について保護者が心配に感じていることについて実はそんなに語られていないという項目がたくさんあったのではないかと。</p> <p>11月までの任期で、目安だとしても3カ月に1回の会議開催ということ</p>

事務局	<p>からすれば、単純計算すればあと2回ということになる。その2回で、今まで話されなかったことがどこまで煮詰められるのか、話されないのではないかという危惧・不安を感じている。</p> <p>児童クラブについては、高学年の受け入れについて、確かに委員からお話しのあったような回答を行ってきたところである。実際に、近隣自治体の状況を見ると、3年生の利用者数の半分程度が4年生の利用者数であり、さらに4年生の利用者数の半分程度が5年生の利用者数というように、徐々に半減していくような利用ニーズとなっている。</p> <p>加古川市としては、これまで3年生までの受け入れであったが、確かに高学年の利用ニーズがないわけではなく、また、パブリックコメントにおいてもこのようなご意見を頂戴したということ踏まえ、新制度のスタートにあたり、加古川市の子育ての重点施策として、今後、拡充や質の向上に努めていくという計画としている。</p> <p>ただ、実際に高学年を受け入れるにあたっては、ハード面での整備が必要になることから、市内の全小学校で一斉にスタートすることはできない。順次拡大することを計画している。</p> <p>平成27年度については、今年度に整備を実施した野口南小学校、また、現在の利用ニーズが施設の受け入れ可能枠を下回っている志方小学校、志方西小学校、志方東小学校、八幡小学校、上荘小学校、平荘小学校の全7小学校区で高学年の受け入れを開始する。</p> <p>今後についても、できるだけ早期に高学年の受け入れを進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>子ども・子育て会議では、保育所・幼稚園の話題が中心であった。児童クラブについては、確かに話し合われた回数は少なかったように思うが、委員からご意見のあったように子育ては子どもが小さい時だけではないので、児童クラブについては、先ほど事務局から説明のあったように拡大し、5年間で待機児童を解消したい。</p>
委員	<p>今日、ここで共通点としての計画（案）についてご承認をいただいたように思う。これについて、ここで立ち止まるのではなく、深めていきたいし、広くご意見を反映させていただきたいと思う。それにはどうすればよいかという点について、事務局とも話を進めてきた。</p> <p>1点は、計画をもとに、具体性・専門性を深めていかなければいけない。また、多くの方のご意見を広くお聞きしていく必要がある。</p> <p>この会議は、共通の理解の中で、同じ土俵で議論できるメンバーであり、深い側面については、この子ども・子育て会議の場でご意見・ご議論い</p>

	<p>ただきたいと思う。また、広くご意見を聴くという点については、この子ども・子育て会議だけではなく、もう少しいろいろな方のご意見をお聴きするという取り組みをしていかなければならない。その際に、もう少し専門性をお持ちの方や、経験を有しておられる方に委員として加わっていただくことも必要かと思う。また、オブザーバーとしてご意見を述べていただくということも一つの方法だと思う。</p> <p>事務局としては、会議に伴う準備期間として最低でも1～2ヶ月、事前に資料をお配りすることを考えると3ヶ月程度の余裕をいただきたいというのが本音だと思う。ただ、そればかりではいけないのも事実であり、実際に利用されている方が日々お困りのこと、そういった声を広くお聴きして次年度以降の事業に反映していく取り組みも必要だと思う。</p>
3. 閉会	閉会の宣言